

会津若松市立地適正化計画策定に係る意見交換会（意見募集）

新型コロナウイルスの感染増によるまん延防止等重点措置の発令により、「会津若松市立地適正化計画策定に係る意見交換会」の開催を中止したことにより、資料の市ホームページ掲載等による意見の募集を行いました。

募集結果については下記のとおりです。

- 1 募集期間 令和4年2月10日(木)～令和4年2月21日(月)
- 2 提出人数 1人
- 3 意見件数 1件
- 4 提出方法 持参(1人)
- 5 意見の趣旨と意見に対する回答 ※趣旨を損なわない程度に要約しています。

No.	意見の内容	意見に対する回答
1	<p>○まちづくりの基本的な概念を見直すことが必要と考える。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化によるまちの活力低下、空き店舗の増加、市民生活の変化、祭事・伝統芸能の衰退、地域の雇用不足による収入減、東京集中・若者減による人口減少など <p>(提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱もの行政から、保全・修理による安全安心で持続可能な維持管理へ ・行政サービスの DX 化(デジタルトランスフォーメーション化＝デジタルテクノロジーによるサービスや事業・経営の変革化) ・空き家、空き店舗対策 ・ゼロカーボン環境の整備に必要な計画立案 ・多様性に対応した提案型働き方改革 ・文化都市としての環境づくりと市民生活の向上 ・楽しみながら収入増加につながる仕事の創出 ・運動などを通じた人との交わり、集まり、子供とのふれあいができる場所づくり ・歩いて行ける場所にあり、市民生活の向上につながる場所の創出(花苗作業所、団地集会所の情報基地化、ベンチの設置、移動販売車など) ・スマートシティ AiCT に入居する企業を中心とした DX 集積による提案、実行、実践による人の集まるまちづくり ・会津大学の知恵を生かした都市開発 ・地元の業者の技術レベルの真の向上と、まちづくりの景観とがマッチした会津地方の良さを生かした観光事業 ・まちづくりの原点は人材を育てていける環境条件を整えること 	<p>様々な観点からご意見を賜りありがとうございます。今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p> <p>今後の立地適正化計画の推進にあたりましては、空き家・空き店舗対策、歩いて行ける場所での市民生活の向上につながる場所の創出などについては、重要な施策の一つになると考えておりますので、施策の実施の際にはぜひご協力をいただければと思います。</p>